

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2005-166862(P2005-166862A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-402488(P2003-402488)

【国際特許分類】

H 01 L 21/027 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/30 5 3 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月4日(2006.12.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

チャンバ筐体と、前記チャンバ筐体の容積を変更する変更手段とを有することを特徴とするロードロック装置。

【請求項2】

前記変更手段は、前記チャンバ筐体の一部分を移動させる移動手段を含むことを特徴とする請求項1に記載のロードロック装置。

【請求項3】

前記チャンバ筐体の一部分は、物体を支持する台を含むことを特徴とする請求項2に記載のロードロック装置。

【請求項4】

前記チャンバ筐体の一部分と前記チャンバ筐体の他の部分との間をシールするシール手段を有することを特徴とする請求項2または3に記載のロードロック装置。

【請求項5】

前記チャンバ筐体内の減圧を行うための配管を有することを特徴とする請求項1~4のいずれかに記載のロードロック装置。

【請求項6】

前記配管を、バルブを介して、物体を処理するメインチャンバに接続したことを特徴とする請求項5に記載のロードロック装置。

【請求項7】

前記配管を、バルブを介して排気ポンプに接続したことを特徴とする請求項5に記載のロードロック装置。

【請求項8】

請求項1~7のいずれかに記載のロードロック装置を備えたことを特徴とするデバイス製造装置。

【請求項9】

請求項8に記載のデバイス製造装置を用いたことを特徴とするデバイス製造方法。

【請求項10】

請求項1~7のいずれかに記載のロードロック装置を備えたことを特徴とする露光装置。

【請求項 11】

請求項 10 に記載の露光装置を用いて基板を露光する工程を含むことを特徴とするデバイス製造方法。

【請求項 12】

チャンバ筐体内に物体を搬送する搬送工程と、
前記搬送工程の後に、前記チャンバ筐体の容積を小さくする容積変更工程と、
前記容積変更工程の後に、前記チャンバ筐体内の減圧を行う減圧工程と
を含むことを特徴とするロードロック方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明に係るロードロック方法は、チャンバ筐体内に物体を搬送する搬送工程と、前記搬送工程の後に、前記チャンバ筐体の容積を小さくする容積変更工程と、前記容積変更工程の後に、前記チャンバ筐体内の減圧を行う減圧工程とを含むことを特徴とする。